

図書館だより

仙台三桜高校図書室

2018年2月20日発行

No.13



もうすぐ卒業式です。三年生の皆さんは、それぞれの道に進むことになりますね。

これからの長い人生、楽しいことだけではなく落ち込むこともあるでしょうが、めげずに過ごしていきましょう！そして1&2年生の皆さん、最後の定期考査をうまく乗り越えられますように\(^o^)/

今回の図書館便りは、年度末に向けてのお知らせをお伝えします。

3月は蔵書点検があります

休館日 **3月6日(火)～22日(木)**

注)土日祝日も閉館になります

3月は卒業式を始め、たくさんの行事があります。図書室でも年に一度の本の総点検期間を設けている月です。修業式前までに完了予定ですが、この期間は図書室利用ができません。ご迷惑をおかけいたします。早めに終わった場合は、開館予定日を繰り上げますので、詳しくは入口掲示板をご覧ください。また蔵書点検に伴い、貸出中の本の総点検も行います。2月27日以降貸し出しされた本以外は、**3月5日までに返却くださるようお願いいたします。**(先生方が借りている本も対象内です。)

図書室閉館時の本返却は図書室前の返却BOXをご利用くださいね。ご協力お願いいたします。

網掛けの日
が閉館です

2&3月カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
2/18	19	20	21	22	23	24
				←	期末	
25	26	27	28	3/1	2	3
	考査	→	予餞式	卒業式		
4	5	6	7	8	9	10
		後選抜	採点日			
11	12	13	14	15	16	17
			発表日			
18	19	20	21	22	23	24
			春分の日		修業式	春休み

蔵書点検期間でも、平日ならだいたい図書係はいます。ご用の方は、トイレ前の入口から入って来て声がけください。点検が早く終了したら、図書室も早めに開館する予定です。ご協力お願いいたします。

長期貸出期間開始のお知らせ

いつもは春休み前に長期貸出期間が設けられますが、今年は早めに**2月27日から**始めます！

前述したとおり3月は行事が多く、皆さまも学校に来ない日が多くなります。いつもに比べれば自分の時間がゆっくりとれるのではないのでしょうか？せっかくなので、この機会にぜひ頭のリフレッシュをどうぞ！本は小説だけではなく、雑学本でも写真集でもお笑い本だって…その内容は長い目で見れば自分の知識のもとになります。自分と相性のいい本をぜひ見つけてくださいね。

本の館外貸出日が2月27・28日、3月2・5日の場合 →返却期限 3月23日(金)

本の館外貸出日が3月23日以降 →返却期限 4月9日(月)

貸出数 一人一回につき5冊

注) 土日祝日は閉館です。

この機会にぜひゆっくり本をご利用ください！



各クラス図書委員さんへお願い

年度初めにクラスへ配布した「広辞苑」「読書感想文集」は3月5日（月）までに図書室へ戻しに来てください。クラスにしている資料は、進路室に戻すものと図書室に戻すものがありますので、間違わないようにしてくださいね。また、自分のクラスにずっと図書室の本らしきものがあるぞ!?という時は、図書室までその本を持ってきてくれると助かります。

（ないとは思いますが…念のため）

4月になってからの予定は年度末に図書室入口に掲示しておきますのでご覧くださいね。



2018/2/14現在の貸出統計（先生分もおまけ）

今年も図書室をたくさんご利用いただき、ありがとうございます。来年度も今まで同様、よろしくをお願いします！



館外貸出の手続きは簡単ですので、ぜひご利用ください

	総記	哲学	歴史	社会	自然	技術	産業	芸術	言語	文学	合計
1年生	3	30	26	28	28	18	25	73	19	1154	1404
2年生	13	42	84	68	43	22	14	94	34	1334	1748
3年生	16	89	86	253	88	49	39	144	104	1444	2312
合計	32	161	196	349	159	89	78	311	157	3932	5464
先生方	3	10	26	21	27	24	9	44	14	334	512

直木賞・芥川賞について

だれでも聞いたことはある「芥川賞」と「直木賞」。有名小説家の名字を使用している文学賞ですが、どういう作品が選ばれるか知っていますか？この賞をつくったのは、自らも作家であった菊池寛氏。昭和10年に設定された賞です。（因みにこの菊池氏、現在も出版されている雑誌・「文藝春秋」の創刊者でもあります）どんな作品が選ばれているかという下記のとおりです。

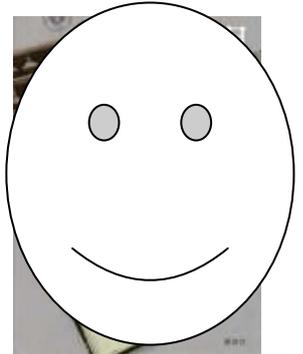
芥川賞（芥川龍之介賞） 純文学の新人に与えられる文学賞。

文藝春秋社内の日本文学振興会によって選考が行われ、賞が授与されます。

直木賞（直木三十五賞）

無名・新人及び中堅作家による大衆小説作品に与えられる文学賞。現在では中堅作家が主な対象とされていますが、大ベテランが受賞することも多いようです。

国民作家・宮沢賢治をはじめ父の視点から描いた、傑作「親子」小説（単行本帯より抜粋）
第158回直木賞受賞作品です



銀河鉄道の父
【門井慶喜著】双葉社

74歳、ひとり暮らしの桃子さん。夫に死なれ、子どもとは疎遠。新たな「老いの境地」を描いた感動作。
（紀伊國屋書店HPより）
第158回芥川賞受賞作品1冊目です

おらおらでひとりいぐも
【若竹千佐子著】河出書房新社

大阪生まれインド発、けったいな荒唐無稽。魔術的でリアルな新しいものがたり。（単行本帯より）
第158回芥川賞受賞作品2冊目です

百年泥
【石井遊佳著】新潮社

